

## IV-4

りょうり  
どんな料理があったのだろうか？

岩宿（旧石器）時代には、その後の縄文時代とちがって土器はありませんでした。土器は、現在でいえば鍋や釜といった調理道具として主に使われていましたので、岩宿（旧石器）時代には、鍋や釜がなかったこととなります。狩りで捕れた動物は、生で食べたり、直接火で焼いたりしたこともあったでしょう。岩宿（旧石器）時代の遺跡からしばしばこぶし大の焼石がまとまって発見されることがあり、「礫群」と呼ばれています。土器がなく煮炊きのできなかった当時の人々は、石を焚き火の中で焼いておいてそれを取り出し、その余熱で蒸すといった調理をしていたと考えられています。

● 発掘された礫群  
（神奈川県月見野Ⅱ遺跡）

（提供：明治大学博物館）

上下に地層が異なる礫群が発見された。同じ場所で何度も生活していたことがわかる。



● 石蒸し料理をする

大きな木の葉（ホウの葉）に肉や野菜を包んで、熱した石で蒸し焼きにする。